



日光例幣使道  
玉村宿まち歩き

日光例幣使道巡り



絵：朝倉 結

群馬デスティネーションキャンペーンinたまむら  
2011年7月1日～9月30日



田園夢花火

2011



第23回 たまむら花火大会 7月16日(土)開催予定

お問い合わせ 玉村町役場経済産業課 TEL 0270-65-2511(代)

Photo by Kazuo Aoi



玉村宿  
まち歩き

## 日光例幣使道玉村宿とは…

玉村町を東西に抜ける国道354号は、江戸時代に日光例幣使道といわれ、徳川家康をまつる日光東照宮へ、京都の朝廷より派遣された勅使である日光例幣使の一行が通るために整備された道です。例幣使一行は毎年4月1日に京都を出発し、中山道倉賀野宿から例幣使道に至り、4月11日には玉村宿に到着、1日平均40kmを歩いた全行程29泊30日の旅でした。この派遣は江戸時代中の221年間、一度も中断することなく続けられました。

日光例幣使道第1番目の宿場であった玉村宿には、本陣や問屋場がおかれ、50軒程の旅籠屋が立ち並び賑わいをみせ、交通の要衝としても栄えました。



木島本陣跡の例幣使歌碑  
玉むらのやどりにひらく玉くしけ  
ふたたびきそのかへみやすに  
参議有長  
（無事に大役を果たして玉村宿に戻り、この先の旅の安全を祈る、詠んだ歌）



## 街中に生き続ける歴史資産

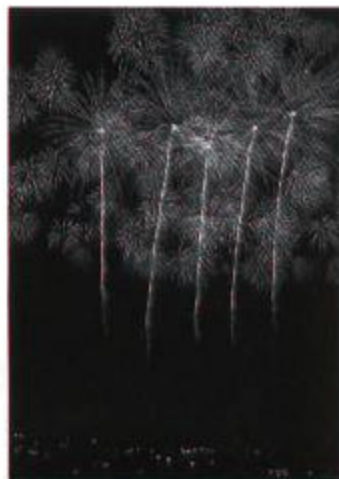
玉村宿は、慶応4年(1868)の大火により街道沿いの建物の多くが焼失しましたが、玉村宿の名残をとどめる玉村八幡宮や和泉屋、本陣跡の例幣使歌碑をはじめ、宿場のたたずまいを受け継いだ明治以降の建物など、貴重な歴史資産が今もそこかしこに残っており、かつての面影を伝えています。

ゆっくり歩いて玉村町の歴史と文化にふれてみませんか？

第23回 たまむら花火大会  
～田園夢花火2011～

たまむら花火大会は、今回で23回目を迎え「田園夢花火2011」をテーマに開催されます。大会は、開催日が他の花火大会よりも早いことから、今では、群馬の夏の始まりを告げる風物詩となっています。

また花火は、田園地帯の真ん中から打ち上げるので、周囲に遮るものがなく、四方どこからでも楽しむことができ、さらには打ち上げ地点の間近で見られることから、臨場感満点で迫力のある花火が体感できます。



## 大会概要

日時 7月16日(土) 開会19:50～(予定)  
場所 玉村消防署東南の田園地帯

## 花火師

## 菊屋小幡花火店

花火競技会で最高位の内閣総理大臣賞を受賞するなど、毎年すばらしい優秀な成績を納めている地元群馬の花火店です。

菊屋小幡花火店は、日本で初めてこの玉村の地で10号玉の四重芯を上げました。

※上記内容についてはすべて予定であり、変更する場合があります。